

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成27年 5月27日更新

事務事業名		施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	議会事務局	課長名	内田 秀一郎
	施策	25	行政改革の推進			所属課	議会事務局	担当者名	田崎 勝
	基本事業	91	開かれた議会の推進			所属班	議会班	(内線)	1312
予算科目		会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10932	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	議会運営に対応して、議会施設・設備の管理運営を行う。 平成27年庁舎新築により、議場、委員会室を設置、併せて録音機器を設置した。合併後、議員数の減少により議場内議席を撤去し、常任委員会の増により委員会室や録音機器を増やした。本会議場の機器設備の老朽化が見られたため、平成27年度中に音響設備関連機器の全面的な改修を実施した。 委員会室の録音機器も経年による老朽化が見られ、不具合が生じており、機器の更新を検討中である。
【業務の流れ】	年度当初に録音機器点検業務の委託契約を行い、6月定例会前に点検を行う。不具合が見つかった場合は、補正予算等で予算措置をして、修繕・入れ替え等を実施する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	要望等は寄せられていない。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
本会議場及び委員会室等の録音機器の点検を年1回実施した。 議場用マイクバッテリーの耐用年数経過を期に、ACアダプター方式に変更するため電源工事を実施した。	本会議場及び委員会室等の録音機器の点検を年1回実施予定	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:本会議、委員会等の開催日数	日	26年度は議場用マイクをACアダプター方式に変更する電源工事を行ったが、27年度は録音機器の点検のみのため減。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
議場及び委員会室等	→ ア:部屋数 イ:機材数	部屋数 台 機材数 台
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正な管理運営により、施設設備の性能を維持する。	→ ア:会議中のトラブルの件数 イ:	会議中のトラブルの件数 件
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
本会議及び委員会等の会議録を適切に記録、保存するための設備であり、会議中のトラブル発生の有無により施設管理の状態を判断する。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア	日	111	97	100	83	100	100	100	100	
	イ										
② 対象指標	ア	部屋	1	5	5	5	5	5	5	5	
	イ	台	2	6	6	6	6	6	6	6	
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	1	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	315	945	906	905	389	5,789	389	389
		(A)事業費計	千円	315	945	906	905	389	5,789	389	389
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	1,058	1,035	2,035	1,434	1,058	2,035	1,058	1,058
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,373	1,980	2,941	2,339	1,447	7,824	1,447	1,447		

事務事業名	施設維持管理事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 マイクからのノイズが録音テープに録音され、会話内容が聞き取れない状況となった。委員長用のICレコーダーのデータを反訳に渡し対処した。原因は20年以上使用している録音機器の老朽化によるもの。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 議会運営に対して議会施設・設備の維持管理を行っていく必要があるため、達成の見込みはついている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 委員会室の録音機器が老朽化による不具合を発生しつつあり、また同等機器が製造終了製品であるため保守が困難になっているため、平成27年度検討を行い、平成28年度機器更新の予定である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 録音機器等特殊なものがあり、連携できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 設備機能を保持するための点検のみ実施しているため、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 点検業務は業者に委託して行っており、職員の人件費は最低限であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担を求める事務事業に該当しない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う分野であるため、移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>委員会室の録音装置が老朽化による不具合が発生した。点検業者に連絡し、対応したことで使用できる状態になっているが、機器更新が必要な状況である。 マイクの電源の取り方を変更したことにより事務軽減を図ることができた。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 本会議及び委員会等の会議録を適切に記録、保存するために、今後も録音機器の点検を行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						